

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

2月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

オンライン面会を行っています

当センターでは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため面会制限を実施しておりますが、面会ができないことによる患者さまとご家族のストレスが課題となっていました。そこで、昨年12月からタブレットを用いたオンライン面会を開始いたしました。開始以来、予約数は増加しており、最近では1日2~3組が利用されています。利用されたご家族は、顔が見られて良かったと、皆さま安心してお帰りになられます。患者さまにも好評いただいております。病院でのリハビリや食事のこと、家の様子などの話ができることで、退院に向けた意欲が向上しているように思われます。

【オンライン面会の方法】

患者さまとご家族にskypeをインストールしたタブレットをお渡しし、患者さまの病室と1階にある面談室を繋ぎ、オンライン面会を実施しています。



オンライン面会の様子 (面談室)



オンライン面会の様子 (病室)

できるだけ多くの患者さまにご利用いただくため、面会時間は1回10分程度とし、対応時間は平日の14時から17時としています。タブレットと面談室は毎回アルコール消毒し、ご家族が県外から来られる場合は、車中から面会していただく等の感染対策を行っています。

新型コロナウイルス感染症の流行により、今まで当たり前であった事や日常生活が大きく変化しておりますが、患者さまのため、これからも変わらずサービス向上に努めて参りたいと思います。

(文責：医療情報管理室 安永)



基本理念 いのち 地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

オンライン面会を行っています…………… P 1

視能訓練室のご紹介…………… P 2

献血のお知らせ…………… P 2

医療最前線…………… P 3

外来担当医表 (2月) …………… P 4

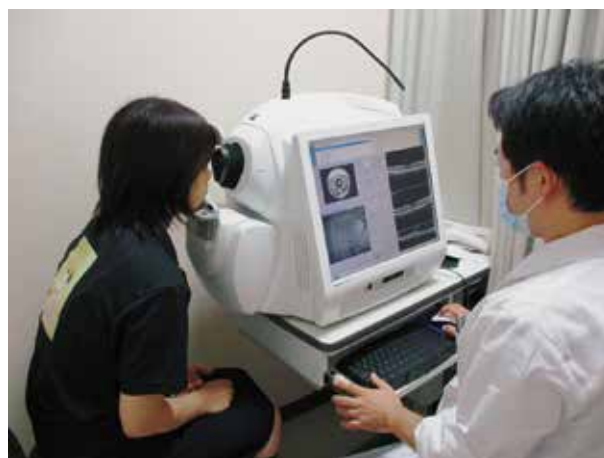
## 視能訓練室のご紹介

私は2000年から山鹿市民医療センター（当時は山鹿市立病院）で視能訓練士として勤め始め、今年で21年目になります。現在山鹿市には視能訓練士が私1名のみです。山鹿市民およそ5万人さらには周辺市町を含む医療圏で見た場合、視能訓練士の不足を否認ませんが、最大限に日々患者さまの視機能を守る一員として努めております。

視能訓練士（certified orthoptist）とは、1971年日本で小児の弱視や斜視の視能矯正・視機能の検査を行う国家資格の専門職として誕生しました。近年では眼科領域の拡充・専門分野の細分化に伴い、視能訓練士が行う業務分野が幅広く拡大しています。実際に当院では小児の視機能検査や弱視・斜視の視能訓練をはじめ眼科一般検査や視野検査・眼軸長測定・眼底カメラ撮影・光干渉断層計検査（以下OCT）などを行い、患者さまの視機能を正確に検出し、診断・治療の一助になるように努めております。OCTを2015年に導入して以来、年間検査件数が2015年度403件・2016年度875件・2017年度1142件・2018年度1906件・

2019年度2189件と年々増加しており、ニーズの高さを日々実感しながら検査を行っております。

今後の長期的な将来の展望として、山鹿市での3歳児健診へ視能訓練士の参加と最近熊本市でも始まった保育園・幼稚園での4歳児健診を、保育園・幼稚園の協力を得ながらの山鹿市でも普及出来るように努め、山鹿地域での小児の弱視・斜視等の早期発見および早期治療へ取り組みたいと考えています。（文責：視能訓練士 花田 正和）



OCTの様子

## 献血のお知らせ

下記により、献血を実施いたします。感染対策のうえ実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

記

★日時：2月8日（月） 13:30～

★場所：山鹿市民医療センター駐輪場前



## 原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

## 医療最前線 (129)



消化器内科

冨口 純 先生

## 機能的ディスペプシアについて

&lt;はじめに&gt;

2020年4月から山鹿市民医療センター消化器内科へ赴任しました冨口純と申します。まだ消化器内科内で専門分野は決まっておらず消化器内科全般の診療に勤めさせて頂いています。赴任して約1年、徐々に当センターでの診療にも慣れてきた所ですが、まだまだ至らない部分も多く日々研鑽が必要と感じています。今後も周辺医療機関の先生方と協力し、少しでも山鹿市の医療の発展に貢献できればと思います。

&lt;機能的ディスペプシアについて&gt;

ディスペプシアとは心窩部痛や胃もたれなど腹部症状のことを言います。機能的ディスペプシアとは心窩部痛などの症状の原因となる器質的、全身性、代謝性の疾患がないにもかかわらず、慢性的にディスペプシア症状を有する状態と定義されています。1991年に初めてローマ委員会で提唱され、2013年に日本国内で保険病名となった比較的新しい疾患となっています。機能的消化管疾患診療ガイドライン2014では日本国内では検診受診者の約2割、ディスペプシア症状を認め病院を受診した患者の約半数と報告されています。原因として胃の働きの低下や遺伝、心理的要因や生活習慣など様々な要因が関与していると言われています。主な病態としては機能的ディスペプシア患者には適応性弛緩反応の障害と胃排出能遅延が

生じていると考えられています。適応性弛緩反応の障害により胃の貯留能が低下するため、少量の食事で満腹感が出現します。また、胃で食物を貯留できないことで、急速に食物が胃前庭部や十二指腸に移動・排出（早期排出の亢進）し、胃前庭部や十二指腸の急激な拡張による腹痛や、胃での未消化物が十二指腸へと輸送され、食物消化の面での負荷による腹部不快感も発生します。そして、早期排出が亢進すると十二指腸から信号が出て反射的に胃排出にブレーキがかかり、最終的に胃排出遅延が起こります。これまで機能的ディスペプシアの腹部症状に対して消化管運動機能改善薬、酸分泌抑制薬、防御因子増強薬、抗うつ薬・抗不安薬、漢方薬等が処方されてきました。現在、ガイドラインで第一選択としてはアコチアミド塩酸塩水和物（商品名：アコファイド）とされています。作用機序として、AChE（アセチルコリンエステラーゼ）阻害作用によりACh（アセチルコリン）の分解を抑制します。その結果、アコファイドは、シナプス間隙におけるACh量を増加すると考えられ、消化管運動機能改善作用を示します。機能的消化管障害患者の多くはなかなか症状が改善しないこと、自身の症状が医師に理解してもらいにくいこと、などからドクターショッピングをする率が高いといわれています。山鹿市民医療センターでも機能的ディスペプシアを疑う患者を多く診察することがあります。機能的ディスペプシアについてご理解いただき日々の診療のお役に立てていただければ幸いです。

## 外来担当医表

2月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	池邊 賢一 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	池邊 賢一 (富口 純)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 浦上勝/石松憲明	工藤 智志 浦上 勝 石松 憲明	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手術 (担当医)	別府 透 山村 謙介
乳腺外科	—	※末田 愛子	—	—	—
泌尿器科	—	※穴見 俊樹	—	※非常勤医師	—
小児科	※石井 真美	—	※石井 真美 予防接種 (午後)	※石井 真美	—
セ ン サ ー   器	耳鼻咽喉科	—	※非常勤医師	—	※非常勤医師
	眼科	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平
産婦人科	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗	福島 泰斗
	※片渕美和子(午後) 2/2(火)、9(火)、12(金)、16(火)、25(木)、26(金)				
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	担当医	担当医	担当医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 池邊 賢一	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 富口 純	豊永 政和 池邊 賢一

◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までにお願いします。

◎小児科診療時間は9:00から16:30(受付は16:00)迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。

※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

## 特殊・専門外来

2月

名称	担当医等	実施日	診察場所
緩和ケア外来(予約制)	佐藤 伸隆	毎週 月曜・水曜 (11:00~12:00)	Bブロック
外来化学療法(予約制)	担当医	毎週 火曜・水曜・金曜	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜 (受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片渕美和子	2/2(火)、9(火)、12(金)、16(火)、25(木)、26(金)	
PEG外来	担当医	毎週 第2・4水曜 (午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日 (13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。

◎急患の場合は、この限りではありません。

ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。

◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地  
TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420  
<http://yamaga-medical-center.jp>